

2015年

12.2(水)

13:30~17:30(開場13:00)

参加無料

事前登録制
(定員450名)

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)

次世代海洋資源 調査技術シンポジウム

~これからの海洋資源調査はこう変わる!~

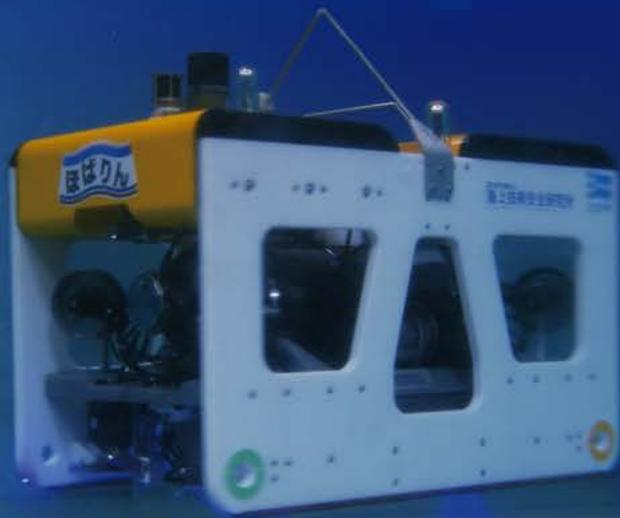


会場:
大崎ブライトコアホール
(東京都品川区北品川5-5-15 大崎ブライトコア3階)



アクセス○JR山手線・JR埼京線・JR湘南新宿ライン
「大崎」駅より徒歩5分

○りんかい線「大崎」駅より徒歩5分



主催: 内閣府/国立研究開発法人海洋研究開発機構

後援(予定): 総合海洋政策本部、総務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、環境省、情報通信研究機構、産業技術総合研究所、海上技術安全研究所、港湾空港技術研究所、国立環境研究所、九州大学、高知大学、東京大学、東京海洋大学、横浜国立大学

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP) 次世代海洋資源調査技術シンポジウム(第2回)

～これからの海洋資源調査はこう変わる～

- 13:30～13:35 開会挨拶 久間 和生 (総合科学技術・イノベーション会議 有識者議員)
- 13:35～13:45 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)の取組み
松本 英三(内閣府 大臣官房審議官 (科学技術イノベーション担当))
- 13:45～14:05 次世代海洋資源調査技術の現状
浦辺 徹郎 (次世代海洋資源調査技術プログラムディレクター)
- 14:05～14:35 海底資源に係る成因モデルの構築に向けて
熊谷 英憲 (海洋研究開発機構 次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチーム 成因研究ユニット 主任技術研究員)
- 14:35～15:05 海洋調査技術の将来
浦 環 (次世代海洋資源調査技術サブプログラムディレクター)
- 15:05～15:35 環境影響評価の国際標準化に向けた取組み
福島 朋彦 (海洋研究開発機構 次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチーム 生態系観測手法開発ユニット 調査役)
- 15:35～15:55 休憩
- 15:55～16:15 民間企業からみたSIP①:産業化に向けた海洋調査技術の向上
久保田 隆二 (海洋調査協会 理事・SIP推進室長)
- 16:15～16:35 民間企業からみたSIP②:熱水鉱床調査技術のレビューと期待されるSIP成果
山川 正 / 小泉 朗 (次世代海洋資源調査技術研究組合)
- 16:35～17:25 パネルディスカッション 次世代海洋資源調査技術へかける期待
サッシャ (ラジオナビゲーター)
伊藤 直和 (海洋調査協会 専務理事)
河合 展夫 (次世代海洋資源調査技術研究組合 理事長)
廣川 満哉 (石油天然ガス・金属鉱物資源機構 金属資源技術部担当審議役)
山根 一眞 (ノンフィクション作家)
浦辺 徹郎 (次世代海洋資源調査技術プログラムディレクター)
浦 環 (次世代海洋資源調査技術サブプログラムディレクター)
堀田 平 (次世代海洋資源調査技術サブプログラムディレクター)
- 17:25～17:30 閉会挨拶 堀田 平 (海洋研究開発機構 理事)

情報交換会

シンポジウム終了後、17:45より同会場にて情報交換会を行います。 ※事前登録制・会費制となります。

参加方法

事前登録制となりますので下記WEBサイトへアクセスの上、お申込み下さい。

http://www.jamstec.go.jp/sip/sympo/2015_2/

※1お申込み時にご指定いただいたアドレスへ登録確認メールを返信しますので、印刷の上、当日お持ち下さい。

※2定員に達した場合等はお断りする場合がございますので予めご了承下さい。

個人情報の取扱いについて

お預かりする個人情報は、当機構の個人情報保護管理規程等に従い適切に管理し、本シンポジウムに関するご案内・お問い合わせのためのみに使用します。

お問い合わせ 〒237-0061 神奈川県横須賀市夏島町2番地15

国立研究開発法人海洋研究開発機構 次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチーム

TEL:046-867-9362 / e-mail:shigen-info@jamstec.go.jp